



## 平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月17日

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー

上場取引所 東 名

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 靖公

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第1四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	2,543	2.8	396	△11.7	398	△11.5	207	12.3
23年12月期第1四半期	2,474	20.3	448	69.5	450	69.3	184	25.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	62.49	—
23年12月期第1四半期	55.63	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	7,290	5,770	79.1	1,740.69
23年12月期	6,967	5,625	80.7	1,696.86

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 5,770百万円 23年12月期 5,625百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,955	4.0	710	△8.3	715	△8.5	400	8.6	120.66
通期	10,400	9.4	1,545	12.4	1,560	11.1	830	18.6	250.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	3,315,000 株	23年12月期	3,315,000 株
24年12月期1Q	24 株	23年12月期	24 株
24年12月期1Q	3,314,976 株	23年12月期1Q	3,315,000 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	2
(1) 追加情報 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、景気停滞から回復の兆しが見えてきたものの、世界経済の減速や円高の長期化等により、景気動向は不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、震災後の自粛ムードは薄れつつあるものの、食肉の食中毒事件や放射能汚染問題等を受けた「食の安全」に対する不安感は継続して残っており、当社の前期第4四半期客数前年比は96.5%となっております。このような環境の中で、当社の「お客様第一で顧客創造」の企業理念に基づき、お客様の嗜好の変化に対応して客数増を実現すべく「価値+価格の追求」をテーマに商品・メニュー開発、接客サービスの強化、店作りに取り組み、当第1四半期客数前年比は104.5%と前期第4四半期比で8.0ポイントの改善をいたしました。

商品面では、1月23日にメニュー改訂を実施し、付加価値の高い商品をお値打ちに提供するため「ビーフ100%ステーキハンバーグランチ」炭焼きでジューシーな「チキンステーキランチ」（共に税抜価格580円）を導入し、お客様から高い評価をいただくことができ、特にランチタイムの客数増に貢献しております。また、ステーキの高付加価値商品を期間限定で、お値打ち価格で提供する企画「ぶどう牛サーロインフェア」「プライムサーロインフェア」さらに、関東地区限定の「ヒレスステーキフェア」を実施し、大変ご好評をいただきました。

販促面では、人気企画のお食事券が当たるスクラッチカードやお子様会員のキッズクラブの誕生日企画、さらには春休み期間のご家族向けのDM企画により、顧客作りのために再来店の促進を図りました。

このような販促企画や期間限定メニュー等のデザイン制作を内製化し、これらの展開をスピーディかつローコストで実現できる体制を確立し、仕入の状況に合わせた特別メニュー等を積極的に展開できるようになりました。

店舗面では、1店舗の出店と2店舗の不採算店舗を閉店して、2012年3月末日現在で店舗数は68店舗となりました。1月30日にオープンした新店、静岡安倍街道店（静岡市葵区）は、2月、3月の売上高で全店1位を記録する好調なスタートを切ることができました。

以上の結果、売上高25億43百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益3億96百万円（同11.7%減）、経常利益3億98百万円（同11.5%減）、四半期純利益2億7百万円（同12.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は72億90百万円（前事業年度末69億67百万円）となり3億23百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が3億19百万円増加したこと等によります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は15億20百万円（前事業年度末13億42万円）となり1億77百万円増加いたしました。その主な要因は、買掛金が1億26百万円及び短期借入金が98百万円増加した一方、未払法人税等が85百万円減少したこと等によります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は57億70百万円（前事業年度末56億25百万円）となり1億45百万円増加し、自己資本比率は79.1%（前事業年度末80.7%）となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払により繰越利益剰余金が1億40百万円増加したこと等によります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年1月18日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,358,433	2,678,274
売掛金	57,312	67,441
商品及び製品	38,821	25,536
原材料及び貯蔵品	132,278	188,949
その他	160,037	157,680
流動資産合計	2,746,883	3,117,882
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,348,980	2,334,387
構築物(純額)	209,378	215,522
工具、器具及び備品(純額)	297,935	285,666
土地	276,207	276,207
その他(純額)	96,875	78,701
有形固定資産合計	3,229,377	3,190,485
無形固定資産	90,077	87,174
投資その他の資産		
差入保証金	579,854	568,205
その他	321,362	326,960
投資その他の資産合計	901,217	895,166
固定資産合計	4,220,671	4,172,825
資産合計	6,967,555	7,290,708
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,125	358,663
短期借入金	122,636	221,574
1年内返済予定の長期借入金	10,909	—
未払金	380,729	362,619
未払法人税等	249,502	164,158
賞与引当金	18,340	72,061
販売促進引当金	24,757	17,777
資産除去債務	4,695	3,729
その他	87,537	109,838
流動負債合計	1,131,233	1,310,422
固定負債		
資産除去債務	193,299	192,922
その他	17,962	17,032
固定負債合計	211,262	209,954
負債合計	1,342,495	1,520,377

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,112,384	4,253,226
自己株式	△51	△51
株主資本合計	5,629,008	5,769,850
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,948	480
評価・換算差額等合計	△3,948	480
純資産合計	5,625,059	5,770,331
負債純資産合計	6,967,555	7,290,708

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	2,474,650	2,543,939
売上原価	660,210	689,597
売上総利益	1,814,439	1,854,342
販売費及び一般管理費	1,365,568	1,457,829
営業利益	448,870	396,512
営業外収益		
受取利息	423	496
受取賃貸料	5,160	5,160
受取保険金	656	3,852
協賛金収入	2,405	2,124
その他	245	373
営業外収益合計	8,890	12,005
営業外費用		
支払利息	508	189
賃貸費用	4,749	4,835
盗難損失	1,505	4,021
その他	729	1,045
営業外費用合計	7,494	10,091
経常利益	450,267	398,426
特別利益		
固定資産売却益	—	1,000
特別利益合計	—	1,000
特別損失		
固定資産除売却損	1,510	201
投資有価証券評価損	415	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	120,408	—
災害による損失	—	34,891
特別損失合計	122,333	35,092
税引前四半期純利益	327,933	364,333
法人税、住民税及び事業税	196,264	156,833
法人税等調整額	△52,745	357
法人税等合計	143,518	157,191
四半期純利益	184,415	207,141

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (5) 重要な後発事象  
該当事項はありません。